

第5回

平成16年6月15日(火)午後2時～4時

柏木地域センター

合澤委員・松永委員

福祉部長・副参事(少子化対策計画担当)・児童家庭課長

保育課保育主査

参加者9名(男4・女5)



計画に対する意見・提案

計画全体

結婚しない、子どもを作らない女性をどう分析し、どう対応するのか。
子育て支援だけでなく、どうしたら女性が子どもを産もうという気持ちになるか考えるべき。

豊かの心の育成

人間関係を学ぶには喧嘩も経験する必要があるので、喧嘩をさせないような狭い保育・教育ではなく広い視野に基づく保育・教育を進めてほしい。

情報

子育ての情報が子育て中の保護者に届いていない。

外国人への支援

外国人への支援として外国版子育てサービスガイドを作るべき。

きめこまやかな支援

行政サービスの提供においても民間サービス業における精神のような姿勢が必要。
「子育て支援すぐやる課」のような総合的な窓口を設置したらどうか。

男性の子育て参加

男性が子育てに参加するためには、男性の意識改革が必要ではないか。そのため男性の意識調査をしたらどうか。

父親にも育児参加をしてほしいが、毎日仕事で終電のような生活では、無理。企業の働き方の見直しが必要。

中学生の意識調査の段階でも育児は女性と考える子どもが多いのは問題。

男性が育児に参加しないのは育児の楽しさを知らないのではないか。計画の中で男性の育児参加のよい事例を紹介するのはどうか。